

# ジャンボタニシの防除は

自治クラブ  
勝樂 恒美



町長 対策チラシを農業者に配布



▲稲作農家の敵ジャンボタニシ

問 数年前から大量発生し、稲作農家に大きな打撃を与えているジャンボタニシの防除の計画は。  
答 加古川農業普及センターと連携し、8月にジャンボタニシの防除対策についてチラシを3市2町の農業者に配布した。また、12月開催の水田農業推進協議会連絡会で防除についての話を聞く。

問 「播磨ゆめづくり塾」が平成22年実施した北古田のコスモ畑は、大変好評だった。今後の継続は。  
答 同畑は11月にレンゲ

# 小・中学校の教室にエアコンを

日本共産党  
田中 久子



教育長 優先順位を考え検討



▲健康と学習効率の向上のために設置が待たれます

問 猛暑が続く中で、小・中学校の教室に学習効果と環境改善のためにエアコンの設置を。  
答 文科省の定める基準では、「夏季は30度以下が望ましい」とされている。老朽化した施設の改修と合わせ、優先順位を考えて検討したい。

問 東京では37度の教室があったが、町では調査されたのか。  
答 教室の温度調査を9月の1週間実施した結果、35度であった。

## 国保広域化を問う

問 民主党は「国保の広域化」を推進する法律を通した。「広域化」になれば都道府県単位に集約し県下の国保税を均一にして、市町村の一般財源の繰り入れを止めて、保険料の値上げを求めている。住民福祉の増進を図る自治体として「広域化」をどう考えるのか。

答 都道府県が保険者となれば一般会計からの繰り入れができなく、保険料が際限なく引き上げられるということだが、国保に加入される人だけが負担増にはならない。本町の財政状況からも「広域化」は「是」とすることは仕方がない。

# はりま病院との裁判は

住民クラブ  
小西 茂行



三村理事 詳細な答弁はできない



▲建物の下回りから産業廃棄物が出てきた

問 21年12月定例会で質問したが、明確な答弁がなかったため再度質問する。  
答 賃借料は工事着工からの契約内容なのか。  
問 双方協議のうえ、契約開始日を22年1月1日から4月1日に変更し工事着工をした。  
問 処分したれんがくすなどの対処法は、契約書に記載されているのか。それらは、町の所有物ではないのか。  
答 契約書には、対処法は記載されていない。現状のまま貸すという姿勢で契約した。詳細は裁

判中であるため、答弁を控えたい。  
問 ガルの破産の経過は。  
答 債権は町が支払った。  
問 N-T電話料金などの債権は。  
答 破産手続き終了のため、配当はない。  
問 協定書にある電話料金の支払いは、どのように理解すればいいのか。  
答 協定書では、指定管理者が支払うことになっているが、契約者が町であるため支払いをした。

## 予算編成の考え方は

三村理事 基金を繰り入れ編成する



緑生会  
野照 照代

# 現町財政で事業の推進は

町長 厳正な事業選択で推進



▲あらゆる世代に安全・安心なバリアフリーを

問 毎年の予算は、単年度収支において大いに意を払う必要がある。  
答 厳しい町財政運営を余儀なくされている中で、事業推進は難しいが、まず交通弱者のための町内、町外へのバス運行事業は。  
問 加古川市のかこバス、明石市のたこバスの乗り入れ、路線の延伸などで、多方面から検討が必要で、協議していく。  
問 危機的財政を鑑み福祉の要素も絡む山陽電鉄播磨町駅バリアフリー化

## 行政改革の数値目標は

三村理事 現時点においては未定

問 第3次行政改革に掲げていた職員定数の数値目標を第4次行革大綱に掲げていないのは。  
答 具体的な職員数の規定はしておらず、数値目標まで決めていない。  
問 計画決定日と議事録を公開しない理由は。  
答 決定は平成22年3月24日で、公開は遅れている。